

ゾーン・軸	景観形成の目標	景観形成の基本方針		
		まもる(保全・維持)	みがく(創出・向上)	ととのえる(改善・配慮)
		竹原が誇る自然景観や歴史・文化的景観などの竹原固有の景観を守り、将来に継承していく景観づくり	竹原の魅力を新たに創出する景観づくりや今ある資源を活用し、磨き上げ、発信することで竹原の魅力と価値を高める景観づくり	竹原の良好な景観を阻害する要因を改善し、周辺景観と調和する景観づくり
まちなかゾーン	竹原市の中心地として、竹原らしい魅力と活力のある景観形成を目指す。特に竹原駅前商店街は、町並み保存地区へつながるルートとなっており、市民や来訪者が心地よさと魅力を感じる景観形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹原駅前商店街におけるノスタルジックな雰囲気を残した親しみのある景観の維持</li> <li>国道432号沿道における商業・公共施設等が立地する都市的な市街地景観及び竹の植栽による良好な沿道景観の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場や沿道の店舗と一体となった駅前ストリートの魅力向上の検討による、まちなかを歩きたくなる、心地よさと魅力を感じる竹原の顔となる景観の創出</li> <li>公共施設ゾーンで想定されている施設の再編による市民が日常的に集いたくなる竹原らしい景観の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹原駅前商店街における建築物等の形態や色彩等の工夫による統一感のある景観の形成</li> <li>幹線道路沿道の建築物・広告物等における賑わい景観や周辺環境と調和した景観の形成</li> <li>関連計画と連携した取組による商店街等における連続性のある景観や良好な景観を阻害する空き店舗等の改善</li> </ul>
住宅地ゾーン	生活の場として、市民が落ち着きを感じる景観形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺環境との調和に配慮したゆとりと落ち着きのある住宅地景観の保全</li> <li>神明祭や祇園祭などの地域で受け継いできた伝統行事等がつくりだす景観の継承</li> <li>地域の憩いの場となる公園・緑地の適切な維持によるゆとりある景観の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな開発等における景観の工夫や緑化の促進等による良好な住宅地景観の創出</li> <li>建築物等が密集した地区における居住環境の改善に合わせた良好な景観の創出</li> <li>公園・緑地の適正な配置や周辺景観と調和した施設整備による快適で居心地のいい空間の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連計画等と連携した取組による空き家等の景観を阻害する要因の改善</li> </ul>
歴史まちなみ地域	“竹原らしさ”を継承し、生活と伝統が融合した歴史的景観の維持・向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>町並み保存地区における関連計画と連携した歴史的な建築物等の維持・活用による歴史あるまちなみの保全</li> <li>忠海市街地や町並み保存地区周辺の歴史あるまちなみと住宅が共存する地区における歴史的な建築物の維持と住環境の確保の両立を図ったまちなみの保全</li> <li>かつての港としての面影を残す本川橋周辺や本川と忠海にある雁木・常夜灯等の周辺の歴史的なまちなみと調和した適切な維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的なまちなみと調和した街路・サイン等の整備や歴史文化が感じられる景観づくりによる地域全体の魅力の向上</li> <li>歴史的なまちなみや建築物等の魅力ある景観の幅広い情報発信による交流の促進</li> <li>歴史的な建築物等における関連計画と連携した活用による価値の向上や魅力ある景観の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的なまちなみの連続性を阻害する建築物や工作物の適切な規制・誘導による統一感のあるまちなみ景観の形成</li> </ul>
田園集落ゾーン	集落と農地が周辺の自然と調和した安らぎのある景観形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市的土地利用等の抑制による集落と農地が調和した緑豊かな田園景観の保全</li> <li>良好な田園風景を形成する田畑等の適切な維持による景観の保全</li> <li>湯坂温泉郷における安らぎと情緒が感じられる温泉地としての景観の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点在している田畑の集約や大規模化等の農地の有効活用による美しい田園景観の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地となっている農地の再生による農地と集落が一体となった景観の形成</li> <li>関連計画等と連携した取組による空き家等の景観を阻害する要因の改善</li> <li>太陽光発電設備等の周辺の農地と不調和な大規模工作物等の設置区域や色彩、植栽等の工夫による景観への配慮</li> </ul>
多島美ゾーン	瀬戸内海の豊かな自然景観を有する島々による多島美を生かした景観形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携による瀬戸内海の魅力ある景観を構成する自然資源の保全</li> <li>関係機関との連携による老朽化が進む大久野島の歴史遺構の保全と島の歴史の継承</li> <li>的場公園や沿岸部の高台、JR呉線等から望む瀬戸内海の多島美景観の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>瀬戸内海の多島美を楽しめる景観ルート・眺望点の整備や魅力ある景観の幅広い情報発信による多くの人が集う空間の創出</li> <li>忠海駅や忠海港における建築物等の修景による地域の玄関口として魅力ある景観の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電設備等の周辺の風景と不調和な大規模工作物等の設置区域や色彩、植栽等の工夫による景観への配慮</li> </ul>
近代産業地域	臨海部に立地するレンガ工場や火力発電所などの近代的な産業の景観形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹原地域や大乘地域における建築物等の規模や色彩等の工夫による背景の瀬戸内海と調和したダイナミックな工場景観の保全</li> <li>吉名地域における建築物等の形態意匠や周辺の外構等の工夫によるレンガのまちとしての景観の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸側からの景観のみならず海側から工場景観を楽しむ仕組みづくりや美しい工場夜景の幅広い情報発信による新たな観光資源としての活用</li> </ul>	
山なみゾーン	山々の緑豊かな自然景観の保全を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携による森林の育成・手入れや風致地区の保全、市のランドマークとなる朝日山や黒滝山、市街地を囲む山々の緑豊かな山林景観の保全</li> <li>朝日山や黒滝山等から市街地や瀬戸内海を見下ろす眺望景観の保全</li> <li>市民の憩いと交流の場となるバンブージュイハイランド等の公園・緑地の適切な維持による景観の保全</li> <li>仁賀ダム・芙蓉湖と周辺の山林が調和した親水空間の保全</li> <li>小吹地区をはじめとした竹林風景の適切な維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝日山、黒滝山等から市街地と瀬戸内海を見下ろす眺望点の整備や魅力ある景観の幅広い情報発信による多くの人が集う空間の創出</li> <li>バンブージュイハイランド等の公園・緑地における周辺の自然環境との調和を図った人と自然がふれあう魅力的な景観の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風力発電設備や太陽光発電設備等の周辺の風景と不調和な大規模工作物等の設置区域や色彩、植栽等の工夫による景観への配慮</li> </ul>

## 各ゾーンにおける景観形成の基本方針(案)

ゾーン・軸	景観形成の目標	景観形成の基本方針		
		まもる（保全・維持）	みがく（創出・向上）	ととのえる（改善・配慮）
		竹原が誇る自然景観や歴史・文化的景観などの竹原固有の景観を守り、将来に継承していく景観づくり	竹原の魅力を新たに創出する景観づくりや今ある資源を活用し、磨き上げ、発信することで竹原の魅力と価値を高める景観づくり	竹原の良好な景観を阻害する要因を改善し、周辺景観と調和する景観づくり
沿道景観軸	市外からの来訪者も多く利用する主要幹線道路沿いで、“竹原らしい”玄関口となる景観形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道 185 号における瀬戸内海を望む眺望景観の確保等による魅力ある沿道景観の維持</li> <li>・ 国道 432 号における竹の植栽や沿道の緑化による市のシンボルロードとなる良好な沿道景観の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路、交差点の改良事業に合わせた歩きたくなる、滞留したくなる歩行者中心の沿道景観の形成</li> <li>・ 竹原中心市街地の国道 185 号における無電柱化等による良好な市街地景観の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿道の空き家・空き店舗等における関連計画等と連携した取組による連続性のある沿道景観の確保</li> </ul>
河川景観軸	竹原の水と緑のシンボル軸として、周辺の景色と調和した景観形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の中心を流れる賀茂川の桜並木やハチの干潟等の自然景観・自然緑地の保全</li> <li>・ 源流である荒谷山などの周辺の山なみや農地と調和した河川景観の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賀茂川河岸や臨海部の親水空間の整備による人々が集いたくなる景観の創出</li> <li>・ 仁賀ダム周辺や中国自然歩道等の自然資源を活かした水と緑のネットワークの形成による魅力ある景観の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関との連携による河川改修における周辺環境と調和した形態や色彩等の配慮</li> </ul>